

市民会議活動イメージ ~これまでのグループ討議での検討成果の整理~

		Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	これまでの議論のまとめ(案)
全体会議の進め方		<ul style="list-style-type: none"> <li>前提条件となることを全体会議で共有してから分科会活動へ(共有したいこと)</li> <li>4次総計の検証、見直し</li> <li>現状の把握(算面市、社会情勢)</li> <li>市の経営状況</li> <li>財政的な条件の整理</li> <li>過去の10年とこれからの10年の違い / など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4次総計の総括をしてから分科会活動へ</li> <li>市民会議としての目標を(9月中)</li> <li>建物の見学など</li> <li>ブレインストーミングを1月に(市民に意見を聞く前に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月中に分科会にわかれる</li> <li>9月に分科会でアンケートの方法・内容を検討</li> <li>10月に全体会でアンケート内容をまとめ、調査票を市民に配布</li> <li>11~12月にアンケート結果を分析</li> <li>1~2月に提言書案を作成。公開し、意見聴取</li> <li>3月に提言書完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9~10月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>人口、財政等の見直し</li> <li>4次総計の検証</li> <li>提言内容のおおよその設定</li> <li>分科会設置についての方針決定</li> </ul> </li> <li>10~3月                             <ul style="list-style-type: none"> <li>各分科会の意見交換</li> <li>中間報告の準備</li> </ul> </li> </ul>	<p>全体会で4次総計の検証(進捗状況、課題など) 今後の社会経済情勢の見直し、提言書のイメージなどについて共有理解を深めたいうえで、分科会の活動を行う。</p>
分科会の進め方	設置時期・活動プロセス		<ul style="list-style-type: none"> <li>設置時期については様々な意見</li> <li>10~12月に分科会で意見をまとめる</li> <li>10~12月に市の問題点を出してから、分科会を設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し基本的な議論をしてから分科会を設置</li> <li>各地域で取り組んでいるグループの人に意見を聞く</li> </ul>	<p>全体会議で基本的な事項についての共有が図られた後、分科会活動に入る。</p> <p>分科会の進め方については様々なご意見があり、今後、検討が必要。</p>
	開催回数・頻度		<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数については様々な意見</li> <li>最低週一回</li> <li>部会毎に必要なに応じて開催</li> </ul>			
	分科会の分け方・構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>分け方については様々な意見</li> <li>キーワードを並べて希望者の多い順から</li> <li>分野・ジャンルごとに分科会を設定してから希望者を募る</li> <li>市民の声を吸収する方法を検討する分科会をつくる</li> <li>行政の縦割りで分科会をつくるのは面白くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入りたい部会に入る</li> <li>複数の部会に入ることも可能</li> <li>「市民会議の未来について」の分科会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分け方については様々な意見</li> <li>テーマ別・課題別などの分科会</li> <li>政策の分類でわかる</li> <li>市民性の育成を考える分科会が必要</li> <li>横割りの分科会が必要</li> <li>提言書の方向性を出した上でそれに基づいた分科会</li> <li>校区単位、地域</li> <li>アンケートで希望を調査</li> <li>複数入れる</li> <li>専門委員に市民会議に出てもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程的に合うメンバーで行う</li> <li>複数テーマに入れるように</li> <li>関心のあることをキーワード化、分類し、各分科会に</li> </ul>	
	分科会の人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>分科会にはリーダー的存在が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会人数については様々な意見</li> <li>人数は多いほうがよい</li> <li>1人部会もOK</li> </ul>			
市民意見の集約方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>意見集約の手法はいろいろある</li> <li>それぞれの部会で検討しては</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分科会のテーマごとに市民の意見を集約してみる</li> <li>ある程度案として固まったものを、子どもや大人、高齢者に直接会って意見を集める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を求めるだけでなく、説明・啓発が必要</li> <li>直接市民と対話することが必要</li> <li>すべての市民が関係者</li> <li>意見の聞きっぱなしにならないように</li> </ul>		<p>具体的な手法について様々なアイデアが出されているが、市民と直接対話していくことが必要という意見が多い。</p>
提言書のイメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想・基本計画レベルの提言書をつくりたい</li> <li>計画期間をどう設定するか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の計画案をつくる</li> <li>行政側の意見ともマッチングさせたもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会議が諮問(案)を作成</li> <li>策定委員会は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの方向性                             <ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画市民案の作成</li> <li>リーディングプロジェクト4つを提言</li> </ul> </li> <li>策定方法についても提言</li> <li>定量的な目標設定が重要。</li> </ul>	<p>総合計画の案を作成してはどうかという意見が多い。</p>